

基本目標	笑顔で安心して暮らせるまちづくり【健康・福祉】
施策名	高齢者支援
<p>高齢者が住み慣れたまちで安心して元気に暮らせるように、在宅福祉サービスの充実や、家族介護の支援、地域福祉活動の充実、介護予防や健康づくり、就労支援や生きがいづくり支援、社会活動参加支援などの取組を推進します。</p>	
<p>施策が目指す蒲郡市の将来の姿</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 高齢者が住み慣れたまちで安心して暮らせるように、地域が協力して支援しています。 ● 高齢者が介護予防や健康づくりに取り組み、元気に長生きしています。 ● 高齢者が社会活動に参加したり、趣味に取り組んだり、生きがいをもって暮らしています。 	

◆具体化した施策の取り組み実績

1 住み慣れた地域で安心して暮らすための施策

項目	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度計画
緊急通報装置の整備(設置台数)	609台	612台	600台
食の自立や安否確認のために 高齢者のみ世帯に弁当を配達する	15,709食	16,923食	17,000食

2 介護予防や健康づくりに取り組むための施策

項目	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度計画
二次予防事業対象者の 運動教室への参加	延べ550人	延べ584人	延べ600人
一次予防事業対象者の 運動教室への参加	延べ881人	延べ1,056人	延べ1,100人

3 生きがいをもって充実した生活をおくるための施策

項目	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度計画
老人福祉センターの利用日数	243日	245日	245日
老人クラブの加入者数	3,489人	3,413人	3,409人
シルバー人材センターの会員登録者	490人	479人	500人

◆評価指標

指標名	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	将来目標
緊急通報装置での通報回数	目標値		-	-	-
	実績値	330回	186回		平成32年度
介護予防教室の開催回数	目標値		130回	136回	272回
	実績値	119回	134回		平成32年度
老人福祉センターの利用者	目標値		45,000人	47,000人	55,000人
	実績値	44,690人	46,106人		平成32年度

◆指標の説明・考え方

指標名	説明・考え方
緊急通報装置での通報回数	緊急通報装置の設置台数は東三河地域では高齢者人口に比して格段に多いため、通報回数が多いが緊急性の高いものばかりとはいえない点が問題である。
介護予防教室の開催回数	高齢化率が県下2位の当市における要介護認定者数を増加させないため、介護予防教室を開催し持続する自主グループを地域に作ることで継続した介護予防支援につなげていく。
老人福祉センターの利用者	健康で明るい生活を送るため娯楽、休養、健康増進を目的としてふれあい入浴、健康相談、生活相談や各種クラブ活動や体操教室を開催し、生きがいのもてる生活が送れる憩いの場を提供する。

◆指標の分析

・緊急通報装置については、現在消防署に直結した方法で行っているが、救急の場合以外での誤作動や無用な相談等が相当件数あり、このことで本来の業務に支障があるとの指摘があり、平成24年度に誤報が少ない機種に変更を行うなどの対策を講じ、一定の効果があつた。今後も貸出しを行う際の説明に主旨を十分理解していただくよう工夫が必要である。

・介護予防教室教室に参加されているうちは、運動機能の低下はみられてはいないが教室終了後の生活状況で元気である方、介護保険の申請が必要な方など様々であるが、自主グループを作って参加されている方は機能の低下のみられない方が多い。運動機能の向上を目指すためには継続していくことが必要である。

・魅力ある活動を提供することで利用者は年々増加している。利用者アンケートでも満足度は高いためリピート率は良く、毎日利用する方も少なくない。

◆今後の方針

施策の課題

- ・緊急通報装置は現在、消防署に直結しているが、消防の広域化に伴い第三者機関に変更してほしいとの要望がでてきているが経費も絡むため早急の対応は困難である。今後は相談は受け付けないことから、生命に危険が生じたときのみ使用限定で豊橋の救急司令センターへの直結を消防部局と連携しながら導入を図ることを検討していく。
- ・二次予防事業対象者のうち通所型介護予防教室に参加することの出来る該当者は23年度527人、24年度611人と増加の傾向であるが教室に参加したいという希望者は増えてはいない。PR不足や内容などニーズにあったプログラムの提供がされているかの検討をする必要がある。

今後の施策展開

- ・介護予防教室は市民の方により分かりやすく興味を持ってもらうため、「転倒防止教室」と運動の中でも特に話題となることを取り上げた教室を開催していく。今後も教室参加者にアンケート調査を行うなどして要望にこたえて事業を展開していきたい

課長評価	構成事業の進捗状況	B: おおむね計画どおり進行している。
	施策の進め方	B: 一部見直しが必要である。
	コメント	高齢者支援における中核的的事业となる介護予防事業については、当事者が興味関心を引き、かつ継続的に参加しやすい業務展開を図っていく必要がある。

部長評価	施策の進捗状況	B: 目指す将来像実現に向けておおむね計画どおり順調に進行している。
	コメント	本市は、高齢化率が県内2位で、生活習慣病リスク発生状況は男女ともに高血糖が県平均より高く、メタボ該当者の割合は県内1位である。しかし、高齢者人口の比率で考えれば、本市はまだまだ元気なお年寄りも多いという事実もわかる。介護認定者の内訳を見ても、要介護度の低い要支援者の比率が高い。このことから、本市は、高齢者が安心して元気に暮らせるよう、介護予防のための健康づくりや高齢者の生きがい対策、社会参加を促す施策を重点的に、かつ早め早めに展開していく必要がある。現在も運動教室開催やふれあい入浴などを実施しそれなりの評価は得ているが、今後は全国での成功例などを参考に、特定の人に偏らず、より多くの高齢者の参加が見込まれる支援事業、より満足度の高い高齢者福祉サービスの提供が求められる。

施策に属する事務事業一覧

総合計画	所管課	番号	事業名	人件費を除く 事業費(千円)	人件費(千円)	人工	総合評価	事業の種別	市長 マニフェスト	実施 計画
1-4	福祉課	132	地域福祉サービスセンター事業	10,971	561	0.07	A	オ	4	○
1-4	福祉課	134	ボランティアセンター運営補助事業	1,400	561	0.07	B	オ	—	○
1-4	福祉課	135	在宅福祉サービス事業	1,977	1,013	0.12	B	オ	4	○
1-4	福祉課	136	社会福祉協議会運営事業	16,677	1,911	0.23	B	オ	—	○
1-4	長寿課	168	老人ホーム措置事業	3,853	3,714	0.50	A	ア	4	○
1-4	長寿課	169	老人福祉センター管理運営事業	42,700	2,250	0.25	A	カ	4	○
1-4	長寿課	170	生きがい活動支援事業	15,912	2,769	0.35	B	オ	4	○
1-4	長寿課	171	高齢者生活支援事業	10,101	5,972	1.00	A	カ	4	○
1-4	長寿課	172	高齢者福祉推進会議設置事業	47	945	0.10	A	イ	4	×
1-4	長寿課	173	低所得者利用者負担対策事業	297	0	0.00	A	ア	4	×
1-4	長寿課	175	生きがいセンター管理運営事業	15,663	435	0.05	A	カ	4	○
1-4	長寿課	176	高齢者健康と生きがいづくり推進事業	66	259	0.05	B	カ	4	×
1-4	長寿課	177	蒲郡市デイサービスセンター管理事業	0	435	0.05	B	カ	4	×
1-4	長寿課	178	地域支援事業	96,147	14,171	3.45	A	ア	4	○
1-4	長寿課	179	養護老人ホーム管理運営業務	74,900	1,114	0.15	A	ア	4	×
1-4	長寿課	180	介護保険給付事業	4,825,103	10,125	2.00	A	ア	4	○
1-4	長寿課	181	介護保険賦課・徴収事業	7,401	19,579	3.00	B	ア	4	×
1-4	長寿課	182	介護保険認定審査資料	49,444	32,023	8.50	B	ア	4	○